

よくわかる アルブミン製剤

監 修

京都大学医学部附属病院 輸血細胞治療部教授

前川 平 先生

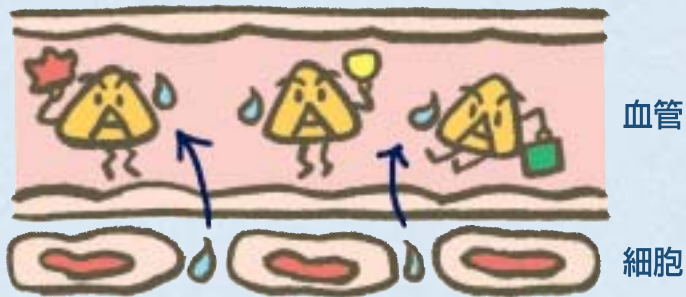


Q1

アルブミンって なんですか？

血液は赤血球や白血球のほか、^{けっしょう}血漿と呼ばれるたんぱく質などを含む成分からできています。アルブミンは血漿に最も多く含まれるたんぱく質で、主に血管内の水分を保ち、血液の流れを調節する役割をしています。

アルブミンのはたらき



- 1) 血管の中と外の水分のバランスを保つ
- 2) 体内のさまざまな物質や栄養素を運ぶ

血液中のアルブミンが少なくなると血管内の水分を保つことができなくなり、血管から水分が出てしまいます。そのため血圧が低下したり、むくみ（^{ふしゅ}浮腫）が起こったり、おなかに水がたまったり（^{ふくすい}腹水）します。アルブミンが著しく少なくなった場合には、肺に水がたまる（^{はいすいしゅ}肺水腫）こともあります。

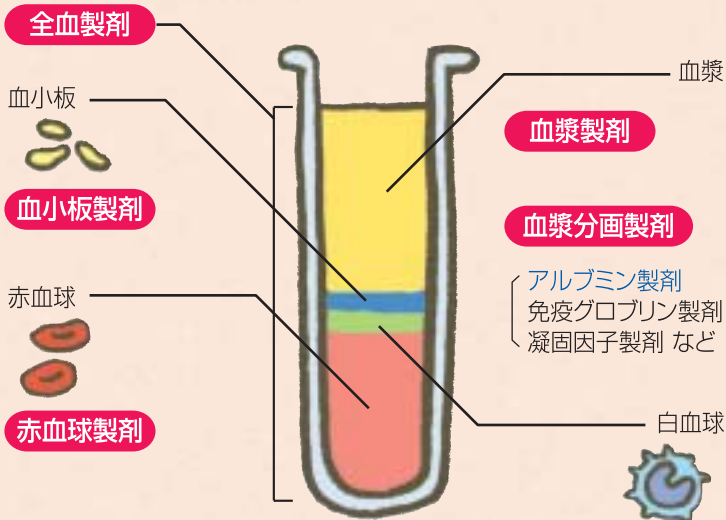
Q2

アルブミン製剤って どんな薬ですか？

アルブミン製剤は、人の血液の血漿けっしょうに含まれるアルブミンを原料としてつくられる薬です。さまざまな原因で血液中のアルブミンが少なくなったときに起こる症状を改善するために使われます。血液の流れを調節したり、出血による血圧の急な低下を改善し、むくみや腹水むくすいを軽減する効果があります。アルブミン濃度の異なる製剤が、病気やケガに応じて使い分けられます。

血液製剤の種類

血液中には、血漿のほかに、出血を止める血小板、酸素を運ぶ赤血球などの成分も含まれています。これらの成分が少なくなったり、働きが悪くなったときに、その成分を補うために各種の製剤が使われます。



Q3

アルブミン製剤はどんなときに使うのですか？

アルブミン製剤を使うとき

- ケガや手術により大量出血したとき



- 重症のやけどを負ったとき

- 病気が原因でアルブミンが尿中にもれ出してしまうとき

- 肝臓の障害が原因でアルブミンをつくる働きが低下したとき

など



このような状態のときに血液中のアルブミンが少なくなります。血液中のアルブミンが少なくなると、ふしゆ 低血圧、ふくすい 浮腫、はいすい 腹水、しゆ 肺水腫などの症状が起こり、それらの症状を改善するためにアルブミン製剤が使われます。

Q4

副作用はありますか？

アルブミン製剤の副作用として、呼吸困難や急激な血圧低下などを起こすことがあります。このほか蕁麻疹^{じんましん}、悪寒・発熱、チアノーゼ（指先や唇などの皮膚が青紫になる）などの症状があらわれることがあります。息が苦しくなったり脈拍が弱くなるなど、これらの症状があれば、すぐに医師に相談してください。



呼吸困難



血圧低下



蕁麻疹



悪寒・発熱



チアノーゼ

Q5

安全対策はどうしていますか？

アルブミン製剤は人の血液を原料とするため、ウイルスや細菌による感染の危険性を完全に排除することはできません。そのため、感染に対する安全対策として原料の血液を採取する段階から特別の注意が払われ、製造工程では加熱処理し、製造後には製品検査を行うなど厳しい安全対策を実施しています。

安全対策3ステップ

1 血液採取時の問診

肝炎やエイズなどの感染症にかかっていないかどうかなど詳しく問診します。



2 製造工程での安全対策

60℃で10時間加熱処理するなどして、ウイルスを不活化します。

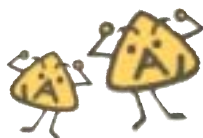


3 製品検査

製品に肝炎ウイルスやエイズウイルスなどが混入していないことを検査確認します。



「献血」と「非献血」の表示について



日本では法律により、人の血液を原料とする製剤には、血液を採取した国（採血国）と採血する方法（献血・非献血）について記載することが義務づけられています。そのため、アルブミン製剤の瓶のラベルには、採血された国名および「献血」か「非献血」かが表示されています。採血国は日本、米国、ドイツ、オーストリア、スウェーデンのいずれかです。

安全対策は採血の方法にかかわらず、同じように行われています。

献 血

自発的に無償で血液を提供することです。日本で採血された血液はすべて日本赤十字社による「献血」により採取されています。



非献血

海外での「献血」以外の方法による血液の提供のことです。血液の提供者としてふさわしいと認定された人から採取されています。



